日韓国交正常化５０周年記念

第５回日韓知事会議共同発表

日韓国交正常化５０周年である２０１５年に、東京において第５回日韓知事会議を開催した。
この記念の年にふさわしく、日本側７名、大韓民国側６名、合計１３名という多くの両国知事・市長が参加し、率直な意見交換をおこなった。

日本と大韓民国は、経済、文化など多くの面で深い結びつきをもつ隣国同士である。東アジアの安定と繁栄のためにも、日韓両国は親密に協力する必要があり、そのような意味で、地方政府間の交流は極めて重要な意味をもつ。

１９９９年１１月９日、東京で第１回日韓知事会議が行われて以降１５年が経過し、この間の日韓両国の文化交流と経済交流において、地方政府間の交流はこの上なく大きな役割を果たしてきた。

日韓両国の地方政府が直面する課題には、各国独自のものがある一方で、共通するものも少なくない。このような両国の地方政府間で、情報交換や事業連携を図ることは、両国の地域住民にとって大きな利益をもたらすものである。

今回の会議でも「地方経済交流」、「地方観光交流」、「地方文化交流」の３分野において、両国の地方政府間では既に幅広い交流と連携の実績があり、両国地方政府にとって有意義な結果をもたらしていること、また、今後さらにこの地方政府間の関係を深めていくことが重要であることを再確認した。

ここに、全国知事会ならびに大韓民国全国市道知事協議会は、日韓国交正常化５０周年にあたり、地方政府間の緊密な関係強化が両国民の利益となり、新しい日韓関係の構築に役立つことを認識し、「日韓国交正常化 50 周年記念地方自治フォーラム」の大韓民国での開催を検討することとし、２０１７年、第６回日韓知事会議を大韓民国で開催し、一層の連携と交流の深化に向けて努力していくことを合意した。

今日の両国知事たちの出会いが日韓の信頼関係強化の転機となり、両国首脳の出会いに繋がることを期待する。

２０１５年１月３０日

全　国　知　事　会　　大韓民国全国市道知事協議会
会長　　山田　啓二　　会長　　李　始　鐘